

組合議会報告・議会活動報告

比企広域市町村圏 組合議会報告

令和2年2月4日東松山市議場において第1回定例会が開催され提出議案15件すべて可決・承認された。

主な内容は、公平委員会委員に飯野和男氏の就任。既存葬祭棟に雨漏りの発生があり5940万円増額する請負契約締結の一部変更。令和2年度予算一般会計は、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ7300万円とするもの。消防特別会計は、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ31億5600万円とするもの。斎場及び霊きゆう自動車事業特別会計は、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ14億1200万円とするもの。

一般質問は、台風19号時の活動について、震災だけでなく風水害を意識した訓練のあり方について、震災時同時火災の場合の対応について質問があり、情報の共有や風水害の意識の向上を図るとの答弁であった。

小川地区 衛生組合議会報告

令和2年2月18日第1回定例会が開催され、すべて可決・承認された。

「議案第1号」
会計年度任用職員の報酬等に関する条例制定について
「議案第2号」
一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について
「議案第3号」
廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例制定について
「議案第4号」
令和元年度一般会計補正予算は歳入歳出それぞれ1530万円を減額し、13億1051万円とする。
「議案第5号」
令和2年度一般会計予算、歳入歳出それぞれ14億2785万円とする。
「議案第6号」
比企広域公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の減少及び同委員会の規約変更について
一般質問は1名であった。

埼玉中部資源循環 組合議会報告

去る2月6日、吉見町役場議場において第1回定例会が開催された。

管理者の行政報告では7月から12月までの組合事務が報告された。8月26日の正副管理者会議では解散の方向で今後協議をすることが決定された。10月5日には来年の3月31日で解散する事が確認され、残る事務は吉見町が行うこととなった。12月の構成市町村すべての議会において解散の諸議案が可決され、解散に向けた事務を進めているとのことであった。

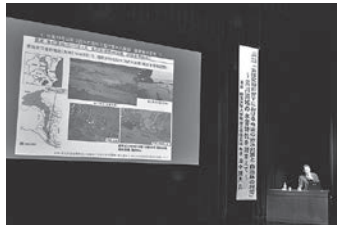
提出された議案は一般職員の給与に関する条例の一部改正、基金条例の廃止、比企広域公平委員会から脱退のための条例変更、一般会計補正予算の4議案で全て原案どおり議決された。

一般質問は1名で「解散に至った原因や理由を検証し今後どのように生かすべきか、教訓は何か」であった。

比企郡町村議会 議員研修会

令和2年2月5日（水）、フレサよしみにおいて比企郡町村議会議長会主催の議員研修会が開催され、「気候変動影響下における今後の治水対策と自治体の対応」をテーマとして、埼玉大学大学院工学研究科教授の田中規夫氏よりお話を伺った。

台風19号の教訓を生かした災害対策が求められている中、ハード事業が重要であることは言うまでもない。自治体では人命を守る取り組みと住民主体のソフト対策として、リアルタイムできめ細かな情報を伝える仕組みづくりや避難勧告に着目したタイムラインの整備と住民各自がマイ・タイムラインの作成を押し進めることが重要と感じた。



議会の動き

23日	13日	12日	9日	5日	3日	3月	26日	25日	19日	5日	3日	2月	27日	16日	13日	10日	9日	1月	
議会報編集委員会	第1回定例会閉会	議会運営委員会	文教厚生常任委員会	総務産業建設常任委員会	議会報編集委員会	議会議員全員協議会	議会議員全員協議会	議会議員全員協議会	議会議員全員協議会	比企郡町村議会議員研修会	観光協会との意見交換会	比企郡町村議会議員研修会	議会議員全員協議会	意見交換会	小川町・東秩父村・ときがわ町議会議員	議会運営委員会	議会報編集委員会	議員視察研修	総務産業建設常任委員会視察研修



水路の泥上げ

多面的機能支払交付金の活動例（農林水産省パンフレットより）

問 多面的機能支払交付金事業とは。

答 中山間地域の直接支払制度の一つで、地域が共同で行う、農地、水路、農道等の質的向上を図る活動に支援する制度。

問 ときがわ町の農業振興

問 地域の面積、及び耕作放棄地は。

答 平成31年4月1日現在、田約121・3ha、畑398・2ha、内田約24・7ha（20・3%）、畑約87・3ha（21・9%）。

問 導入が進まない原因要

問 因は。

答 事務が複雑なことから、高齢化した活動組織にとつて大きな負担となっている。

問 支援の考えはあるか。

答 地域組織の立ち上げや事業の推進を支援していきたい。

多面的機能活動組織の設立・活用に支援を 町長 地域組織の立ち上げや事業推進を支援する 田中紀吉



学校・保育園給食の食材としてときがわ町産の有機野菜の利用を

問 学校・保育園給食の食材として有機野菜利用促進の考えは。

答 食材納入業者には町内産の野菜を優先しての納入をお願いしている。有機野菜利用についても研究していきたい。

町の考えを問う

9議員が一般質問に立つ

全質問事項

田中紀吉

1. 多面的機能支払交付金事業に取り組む組織の設立・活用に支援を
2. 学校給食・保育園の食材として、ときがわ町産の有機野菜の利用を

岩田鑑郎

1. 定員適正化計画について

山中博子

1. 地域おこし協力隊の現状と施設及びジビエへの進捗状況は

野原和夫

1. 教員の変形労働時間制について
2. 水道料金の基本料金の見直しを、更に料金の引き下げを
3. 激甚化する自然災害と防災

野口守隆

1. 森林認証制度について
2. ごみの訪問収集について

杉田健司

1. 今後の災害対応について

長島金作

1. 東京オリンピック・パラリンピックは国旗を掲げて応援してはどうか

神山俊

1. 中長期の課題について
－決断と実行力－
2. キャンプの町に
－宿泊客の獲得へ－

小島利枝

1. 台風19号から見えた災害対応について
2. 終活の一助へ「エンディングノート」の作成を